

日本集団災害医学会

尼崎 JR 脱線事故特別調査委員会 報告書

JR 福知山線脱線事故に対する医療救護活動について

2006 年 2 月

日本集団災害医学会 尼崎 JR 脱線事故特別調査委員会

目 次

調査結果の概要	1
調査結果からの提言	2
I 委員会メンバーおよびオブザーバー	4
II 調査目的	4
III 調査方法	4
IV 調査結果	5
1 事故の概要	5
2 事故後の各行政組織の初期対応	5
3 組織間の連携と命令	6
4 病院前救護（要約）	7
5 医療機関の対応（要約）	9
6 被災傷病者（要約）	10
7 転院搬送	10
8 プレホスピタルケア	10
1) Search & Rescue	10
2) Confined Space Medicine	10
3) 現場トリアージ（小林誠人）	11
4) 現場初期医療救護（小林誠人ほか）	12
5) 現場での指揮命令と連携	13
6) 救急搬送（早川一隆、中山伸一）	13
7) 警察による搬送	14
8) 市民による救護と搬送（中村通子）	14
9) JR 列車のトリアージ（吉永和正）	16
9 医療機関の事故当日の状況と対応	18
10 患者調査（池内尚司）	24
11 兵庫医科大学収容症例（吉永和正）	34
12 看護上の問題点（棧 裕子）	36
13 死体検案（長崎 靖）	38
14 広域災害・救急医療情報システム（中山伸一）	42
15 個人情報保護に関する事柄	43
V まとめ	44
VI 調査結果からの提言（再掲）	45
おわりに	46
資料 1、2	